

文京区コミュニティバス新規路線ニーズ調査結果について

1 調査目的

本郷・湯島地域におけるコミュニティバスの新規路線を検討するため、地域住民の外出状況、コミュニティバスの利用意向等を把握する。

2 調査方法

(1) 調査対象者

本郷1～7丁目、湯島1～4丁目、小石川1～2丁目、春日1丁目、後楽1丁目の地区内に居住する18歳以上の区民の中から無作為に2,000人を抽出の上、郵送によるアンケート調査を実施。

(2) 調査期間

9月20日～10月7日

(3) 回答数

638人（回収率31.9%）

3 調査結果

「文京区コミュニティバス新規路線ニーズ調査報告書（概要版）」（別紙）のとおり

4 今後のスケジュールについて

～3月	プロポーザル方式によりバス事業者を選定
令和2年度	運行計画の作成、各関係機関との協議・調整、運行開始準備
令和3年度	新規路線運行開始予定



(概要版)

文京区コミュニティバス新規路線ニーズ調査報告書

令和元年 11 月

文 京 区

【調査の目的】

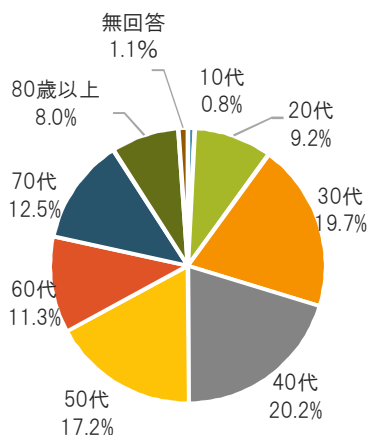
本郷・湯島地域におけるコミュニティバスの新規路線を検討するため、地域住民の外出状況、コミュニティバスの利用意向等を把握することを目的としています。

【調査の対象】

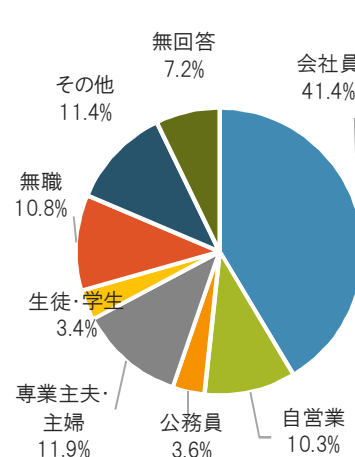
本郷 1～7 丁目、湯島 1～4 丁目、小石川 1～2 丁目、春日 1 丁目、後楽 1 丁目の地区内に居住する 18 歳以上の住民の中から無作為に 2000 人を抽出の上、アンケート用紙を発送し、638 人から回答をいただきました。（回収率は 31.9%）※小石川 1～2 丁目、春日 1 丁目、後楽 1 丁目は「シビック周辺エリア」としてまとめて表記しています。

1. 回答者の属性

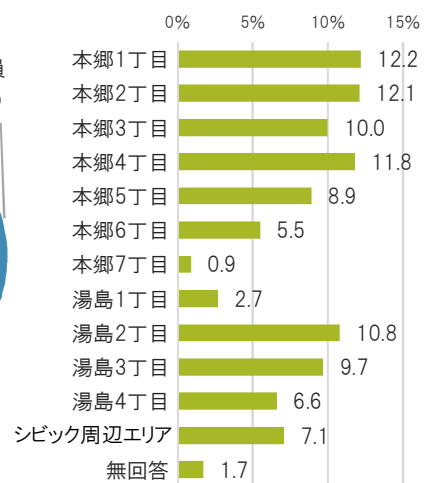
■ 回答者の年齢



■ 回答者の職業

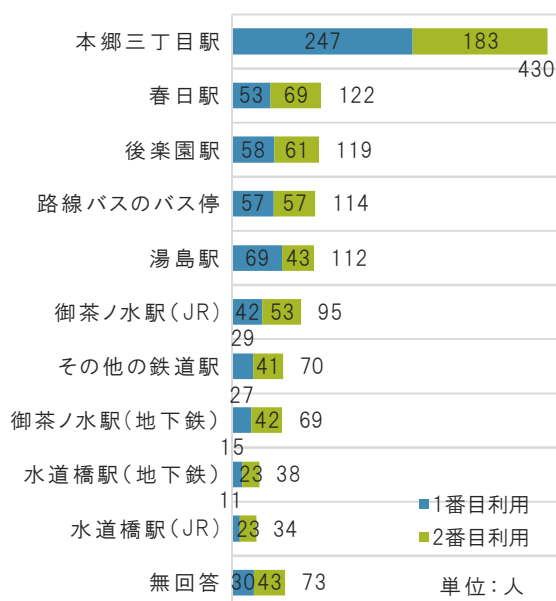


■ 回答者の居住地区

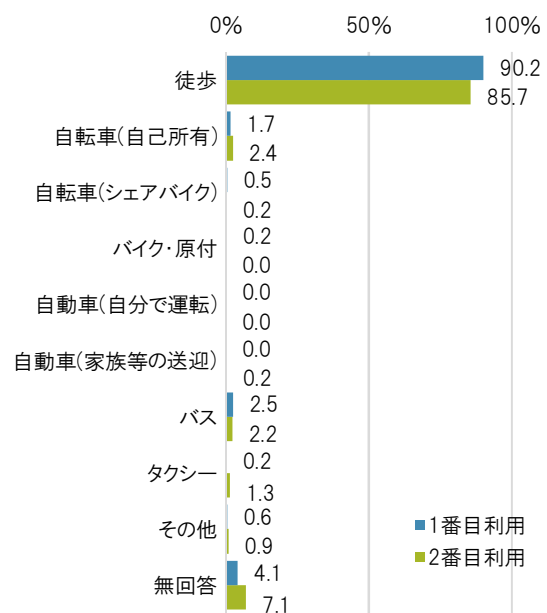


2. 本郷・湯島地域における公共交通に関する現状

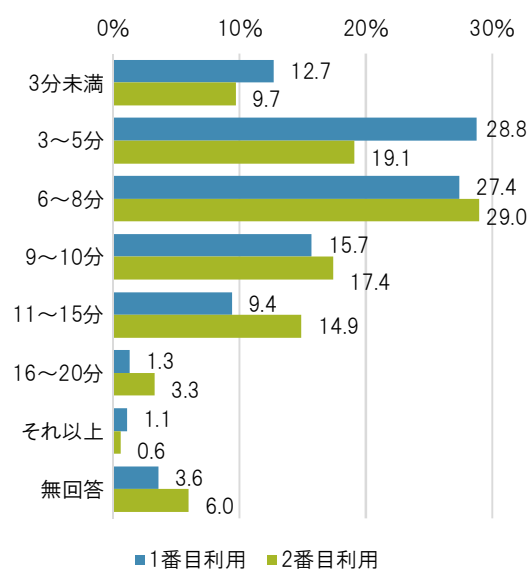
■ 普段利用する駅・バス停（上位 2 つ）



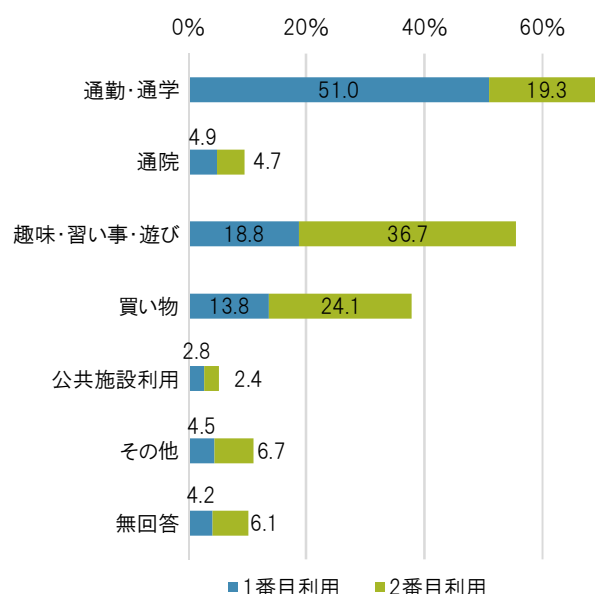
■ 普段利用する駅・バス停までの移動手段



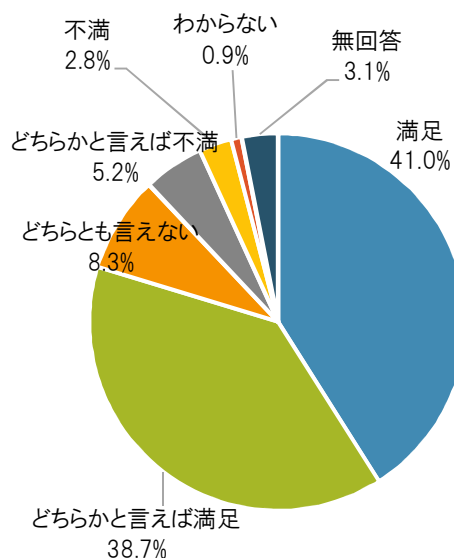
■ 普段利用する駅・バス停までの所要時間



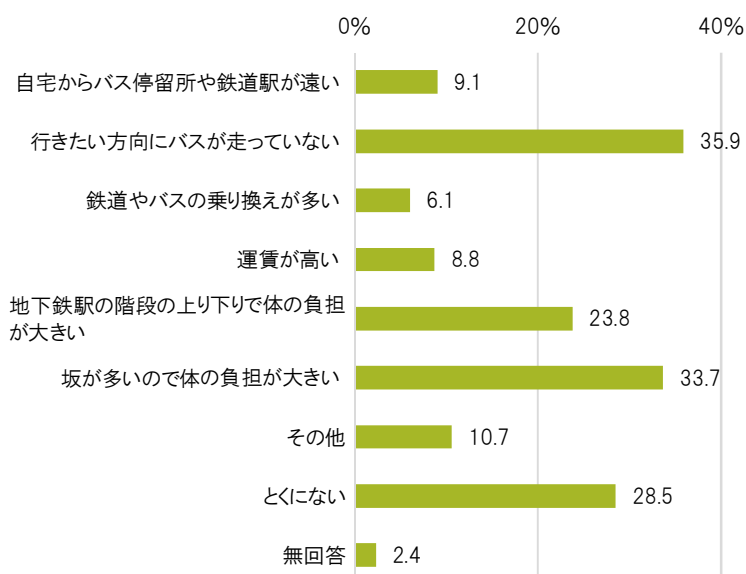
■ 普段利用する駅・バス停の利用目的



■ 自宅周辺の公共交通への満足度



■ 自宅から出かけるときに困っていること



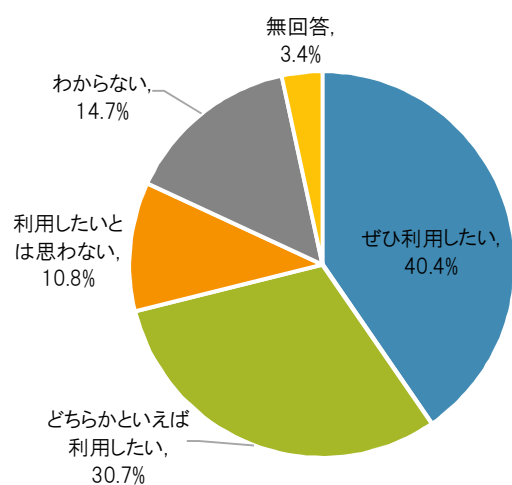
● 本郷・湯島地域における公共交通に関する現状についてのまとめ

普段利用する駅・バス停については、「本郷三丁目駅」の利用割合が最も高くなっています。最寄り駅までの移動手段についてみると、約9割の人が「徒歩」で移動しており、駅までの所要時間については、約4割の人が5分以内、8割以上の人が10分以内となっています。最寄り駅の利用目的として最も多いものは、「通勤・通学」で約半数を占めています。

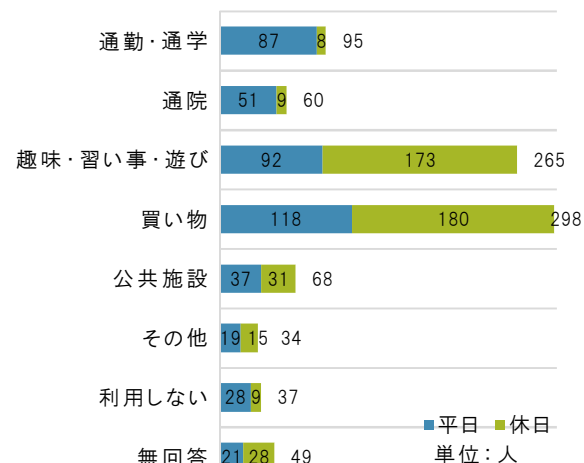
自宅周辺の公共交通への満足度については、「どちらかと言えば満足」を含めると、約8割の人が満足している状況です。一方、自宅から出かけるときに困っていることとしては、「行きたい方向にバスが走っていない」、「坂が多いので体の負担が大きい」といった意見が3割を超えており、バス運行に対するニーズの高さがうかがわれます。

3. 本郷・湯島地域におけるコミュニティバス新規路線に対するニーズ

■ コミュニティバスの利用意向



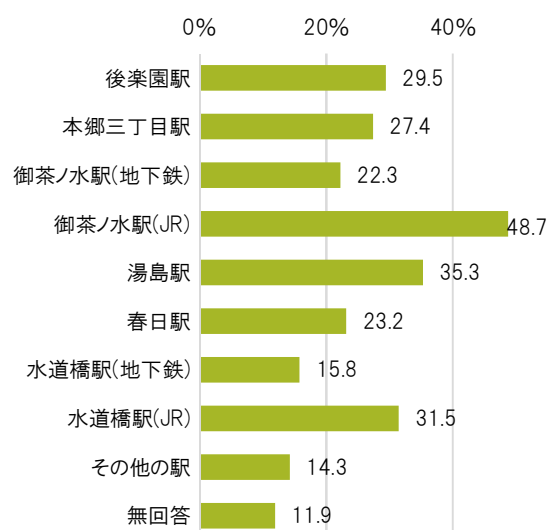
■ コミュニティバスの利用目的



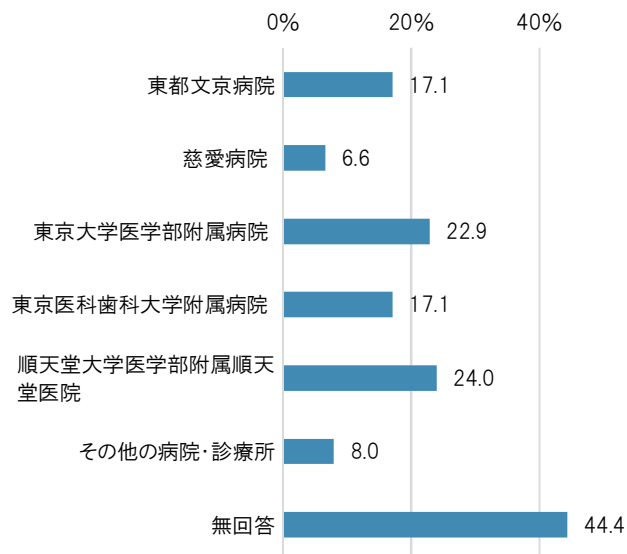
※利用意向において「ぜひ利用したい」または「どちらかといえば利用したい」と回答した人への設問

■ コミュニティバスを利用して行けると良い・便利と思う場所

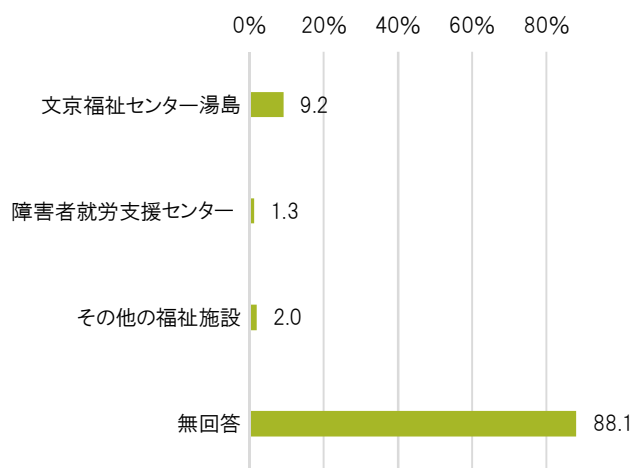
・『駅』



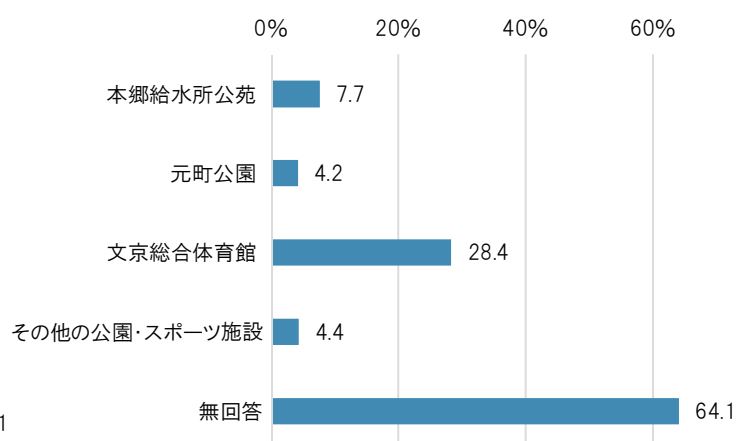
・『病院』



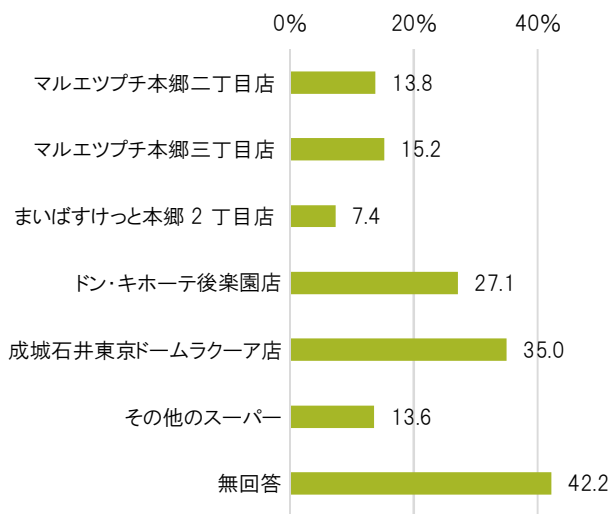
・『福祉施設』



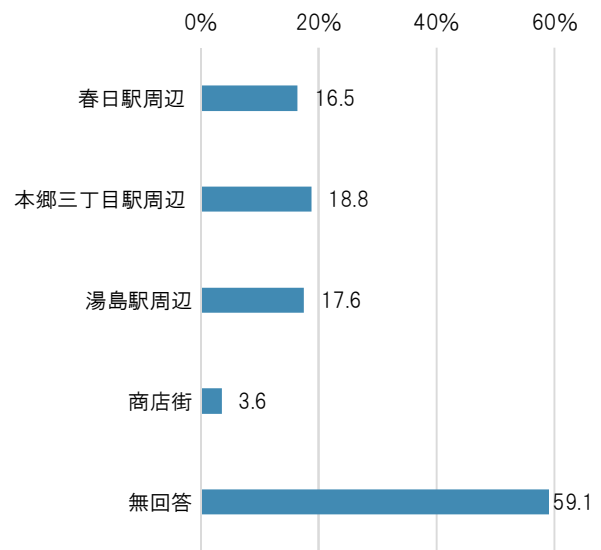
・『公園・スポーツ施設』



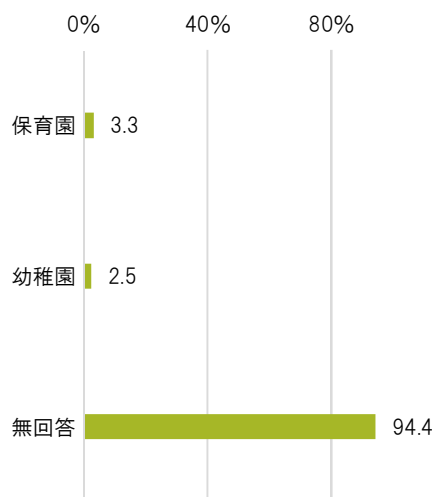
・『スーパー』



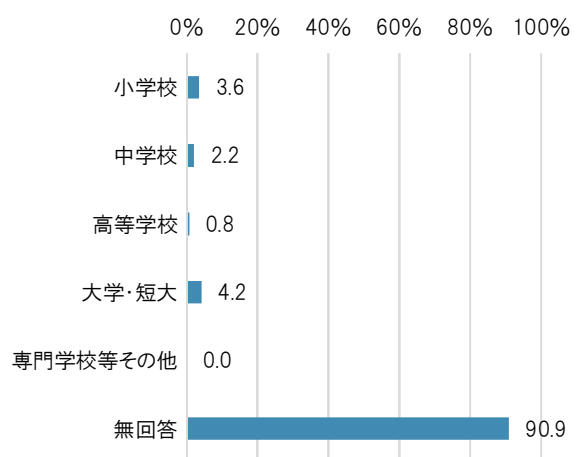
・『商店街等』



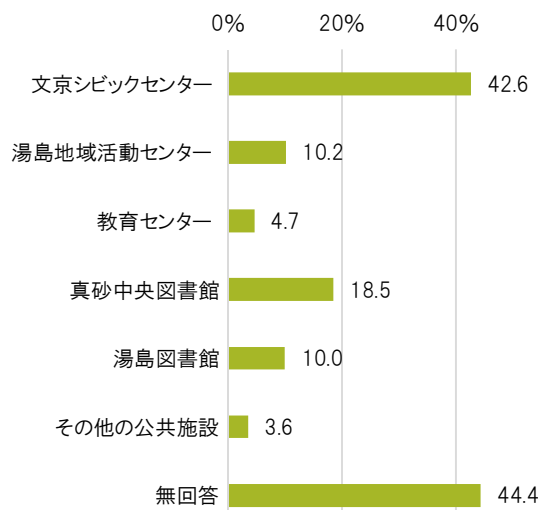
・『保育園・幼稚園』



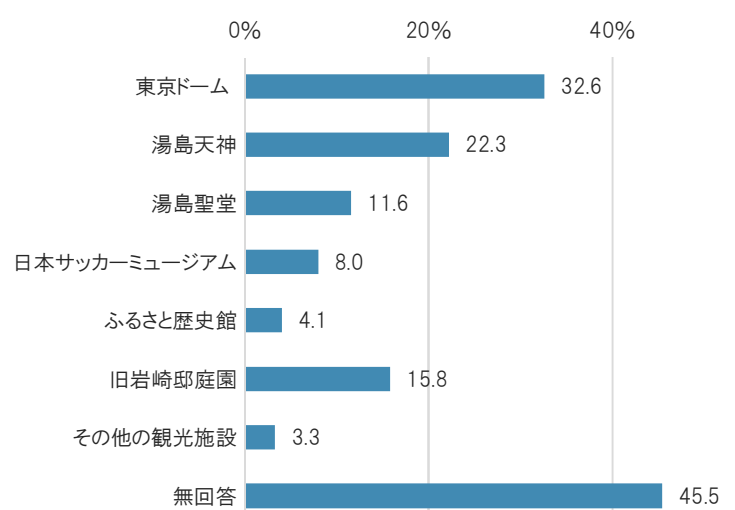
・『学校』



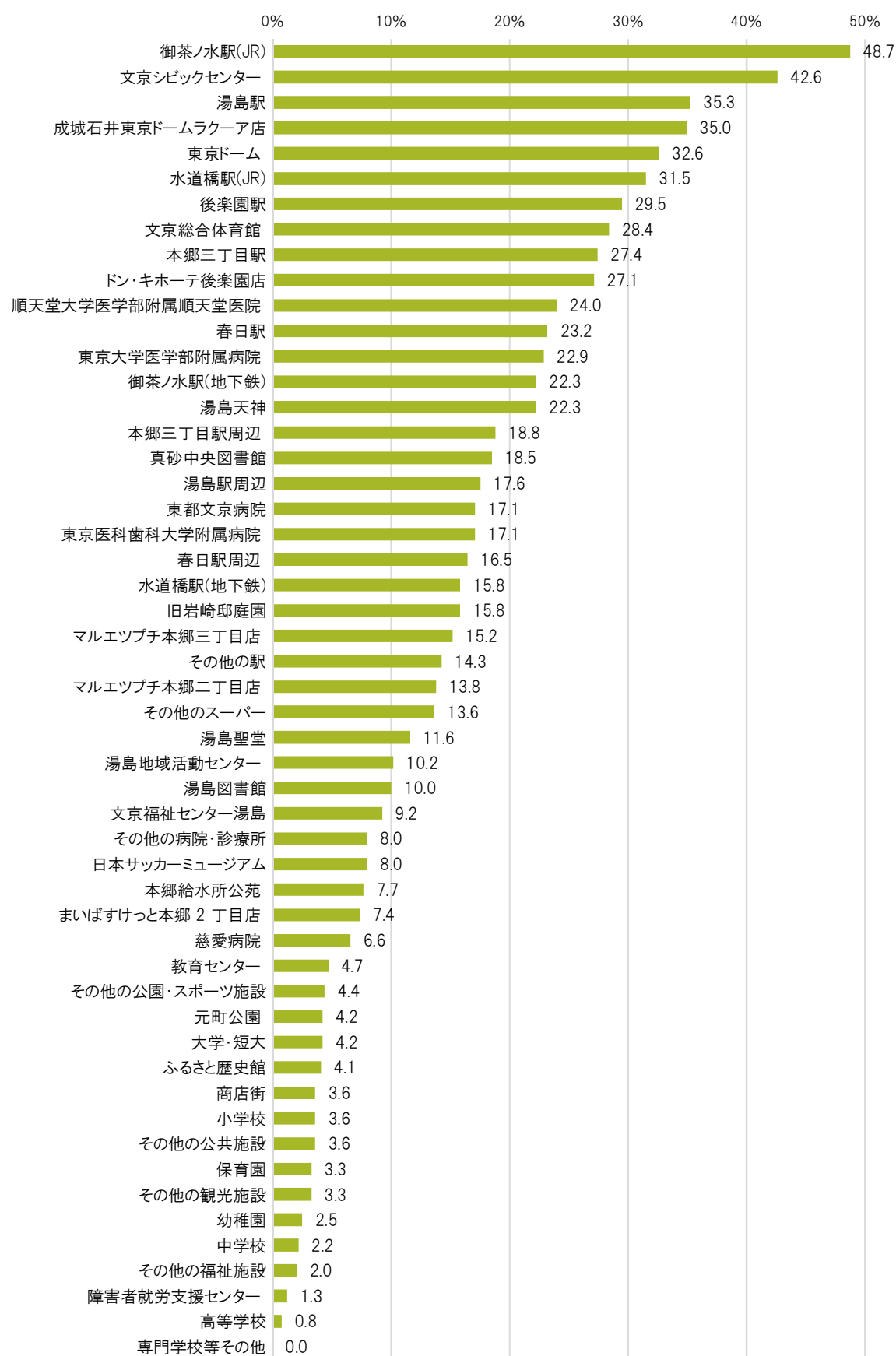
・『公共施設』



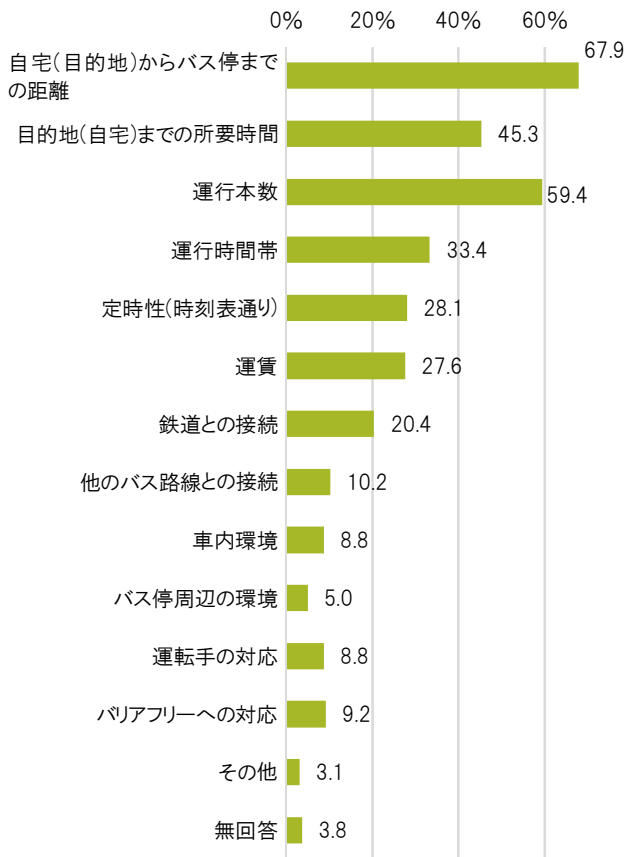
・『観光施設』



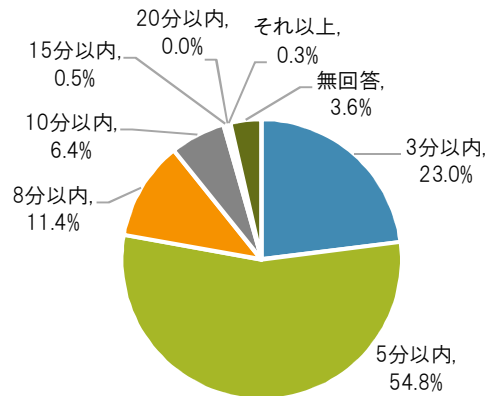
・全カテゴリー、回答数順



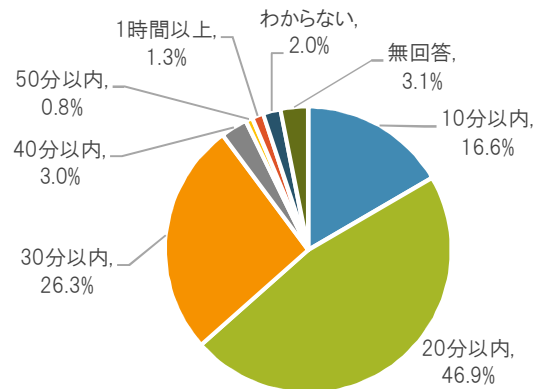
■ コミュニティバス利用時に重視すること



■ 自宅(目的地)からバス停までの所要時間の許容範囲



■ バス停から目的地近くまでの乗車時間の許容範囲



● 本郷・湯島地域におけるコミュニティバス新規路線ニーズについてのまとめ

コミュニティバスができた場合の利用意向については、「どちらかと言えば利用したい」を含めると、約7割の人が「利用したい」と回答しています。利用の目的としては、「買い物」、「趣味・習い事・遊び」、「通勤・通学」の割合が高くなっています。

『行けると良いと思う場所』についてカテゴリーごとにみると、『駅』については、「御茶ノ水駅(JR)」の割合が他の周辺駅に比べかなり高くなっています。『病院』については、「順天堂大学医学部附属順天堂医院」や「東京大学医学部附属病院」の割合が高くなっています。また、『スーパー』については、「成城石井東京ドームラクーア店」、「ドン・キホーテ後楽園店」の割合が高く、『公共施設』については、「文京シビックセンター」の割合がかなり高くなっています。

また、『コミュニティバスの利用に際し重視すること』で最も割合の高かったものは、「自宅(目的地)からバス停までの距離」で約7割となっています。

コミュニティバス利用に際し最も重視する項目である「自宅(目的地)からバス停までの距離」に関連することとして、バス停までの所要時間の許容範囲についてみると、「5分以内」の回答が約8割を占める状況となっています。

また、自宅の最寄りのコミュニティバスのバス停から目的地近くまでの乗車時間の許容範囲についてみると、「20分以内(10分以内を含む)」が全体の約2/3を占めますが、「30分以内」も約1/4の回答があります。

以上のことから、新規路線の開設に際しては、「駅」を拠点としながら、立ち寄りニーズの高い施設を、どの程度の時間で結びつけることが利用者の利便性を高めることになるのか、コミュニティバスに求められる役割を踏まえ、総合的に検討していく必要があります。

(概要版)
文京区コミュニティバス新規路線ニーズ調査報告書

令和元年 11 月発行

発 行 文京区区民部区民課
文京区春日 1 丁目 16 番 21 号
電話 03-3812-7111 (代表)

調 査 株式会社 高島テクノロジーセンター
栃木県小山市中央町 3 丁目 7 番 1 号 ロブレビル 6 階
電話 0285-20-2300 (代表)